

平成25年度 学校評価に関する報告書

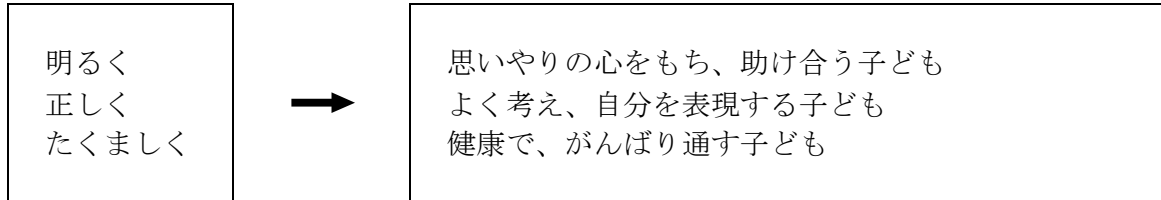
半田市立花園小学校

1 学校教育目標

心身ともに健康で、向上心をもって自分を高め、たくましく生きる児童を育てる。

校訓

児童像



2 本年度の重点努力目標

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。
- (2) 思考力と表現力を育成するための言語活動の充実に努める。
- (3) 学習環境を整えた中での授業実施に努める。
- (4) 教育のプロとしての自覚をもって指導力の向上に努める。
- (5) 安心・安全指導を徹底する。

3 自己評価の結果と改善のための方策

- (1) 本年度の重点努力目標についての結果と改善のための方策

・重点努力目標(1)については、学年会を中心に授業の教材研究、全校での漢字大会や算数大会を実施することで基礎的・基本的な知識の習得に努めることができた。また、児童一人一人の課題に応じた学習指導をするため、4年生以上で少人数指導授業を行ったり、全学級に担任以外の教員あるいは支援員が入って個別指導を行ったりした。

・重点努力目標(2)については、本年度の現職教育のテーマとして、電子黒板を使用しながら言語活動を授業に重点的に取り入れて、児童の能力向上を図った。効果的な授業形態と併せて、聞き方・話し方・話型も校内統一して指導し、思考力と表現力の育成を図った。

・重点努力目標(3)については、電子黒板を全職員が積極的に取り入れ授業改善を図った。また、児童の作品に朱書きを入れたものを玄関前を始めとした多くのコーナーに掲示し、頻繁に交換してきた。これは、児童や保護者の関心も高く、わざわざ学校に足を運んで見学にみえる方を何人も見かけた。これ以外にPTAボランティア隊によるトイレ清掃も継続的に行われ、よりよい環境で子どもたちが過ごせるよう努めることができた。

・重点努力目標(4)については、現職教育において、全職員がICT機器を積極的に活用しようとする取り組みができた。今後は、少経験者の教員が増加することからもベテラン教員を講師にしながら研修会を計画的に実施するなど校内現職教育の充実に努め、教員の指導力を高めていきたい。

・重点努力目標(5)については、本年度、危機管理マニュアルを見直し修正した。そして、大津波警報発令時の避難場所として、保育園や地域に学校を開放する体制を整えた。防犯については、PTAと地域老友会が一体となり、毎週2回青パトも併用しての下校時パトロールを実施してきた。また、年度末には成岩三区が防犯強化地域となり、学校正門と西門に24時間体制での防犯カメラが設置され、昼間だけでなく夜間や休日の犯罪抑止効果が期待されている。

- (2) 評価項目に対するアンケート結果等の考察と改善のための方策

・児童アンケートでは、7つの質問中6つで90%程度以上の肯定的結果がでた。「学校は楽しい」「授業はわかる」を始めとして、「あいさつ」「返事」「片付け」も意識して行動している自己評価結果であった。しかし、家庭学習への取り組みについては、肯定的評価は80%台にとどまり、15%の児童がどちらかと言えば取り組んでいないと答えていた。定期的に行っている漢字・算数テストの際は家庭でもがんば

って覚えているようだが、継続的な学習習慣を家庭の協力のもと、自主学習の習慣を身につけさせていきたい。

・保護者アンケートで、90%程度以上の肯定的評価を受けたのは、「学校を楽しみにしている」「行事を楽しんでいる」「適度の学校公開日」「情報発信に努めている」「基礎基本の学習への取り組み」「健康・体力づくり」などで、児童の回答とも同じ傾向を示している。これらの結果を励みに、現在の取り組みの維持にとどまらず、さらに発展・継続した活動を目指していきたい。逆に、肯定的意見が70%以下となった「教育方針のわかりやすさ」「よりよい施設・環境整備」「授業のわかりやすさに対する子どもの声」については、十分に反省し来年度の改善につなげていく必要がある。これについては、毎年課題としてあがってくる項目で、意識して取り組んでいるものの、大きな結果が現れていない。継続的な取り組みだけでなく、視点を変えて新しい試みも入れていく必要がある。とくに、授業については児童の結果との間にずれがあり、児童の考えるレベルと保護者の望むレベルとの差があるように考える。学校としては、より厳しい目をもって授業改善に取り組んでいく必要がある。

(3) 改善のための方策

・保護者よりいただいた意見については、職員会議で検討し、学校の考え方や次年度への方策を全世帯に配布した。児童評価の家庭学習については、学年体制で宿題を見直し、保護者との協力体制を整えながら習慣づけていく。あいさつ・返事については、地域での教育懇話会でも協力を依頼し、児童会あいさつボランティアと結びつけながら、大人と子どもが一体で進めていく。

・学校の教育方針を地域に理解していただけるよう、学校だよりやホームページだけにとどまらず、地域の教育懇話会や児童センター・公民館においても周知徹底を図っていく。

4 学校関係者評価の結果

(1) 学校関係者評価に関する委員等

評価者を学校評議員と保護者とし、学校評議員会、PTA総会、文書等を活用して、学校の重点目標や現状の説明をした。

また、学校評議員には、学校公開日や学校行事等の参観をしていただき、教職員や児童、施設・設備の状況を知ってもらう機会を設けた。

(2) 自己評価の結果と改善のための方策についての評価結果

12月に保護者・児童・教職員を対象に「花園小学校の教育活動」についてアンケートを実施した。また、2月末の学校評議員会で、上記アンケート結果や、学校公開日・学校行事等の参観を基に意見をいただいた。以下が主な内容である。

○学校だより「トピックス」の回覧版等で学校の様子がよくわかってありがたい

○施設面の老朽化が目立ってきているが、行政の対応で足りない部分について、地域でも手を貸していきたいので、必要に応じて連絡してほしい。

○あいさつのできる学校・地域にするために、これからも継続して声をかけていきたい。

5 自己評価及び学校関係者評価に関する公表

(1) 保護者に対する公表方法

・「花園小学校の教育活動」アンケート結果を文書およびホームページで公開した。

(2) 地域に対する公表方法

・ホームページで公開するとともに、学校便り「トピックス」を地域の世帯に回覧板を通して配布した。

6 次年度への重点努力目標や具体的な取組への反映

・学校教育目標を保護者・地域に分かりやすく伝える方法を探る。来年度もPTA総会や学校だより・ホームページ等で紹介していく。また、全職員が学校教育目標に基づいて、それぞれの学級経営や校務分掌に取り組めるよう周知徹底する。

・教員の指導力向上を目指すために、現職教育を中心に校内研修の充実や授業公開を行っていく。